

2024 年 4 月 23 日

2023 年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告書

団体名 買い物支援「しおん」

代表者・役職名 氏名 菅原 由美子

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

「しおん」でニコニコ元気に!! お買い物を楽しく! 通院の不安を和らげて!

2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

買物弱者の増えている中、武蔵村山市中原地区のアンケートの結果、事実が浮き彫りにされて2021年9月に7名で団体を立ち上げ検討を進め市内で初めて協力会員の自家用車による買物及び通院支援をする団体として2022年5月より活動を開始

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

一人住まいで会話もなく過ごされている方に支援することで会話も増え、明るく元気になれるので引きこもり老人を少なくしていけることと、通院に一人では不安の方に付き添うことで、安心して病院に行けることを目的に、2022年は144件の支援であったので、2023年は180件を目標として活動

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

支援を受けたい方が本会に入会されて利用内容(①買物支援②通院支援③その他利用者の要望)に対してコーディネーターが協力者をマッチングさせて協力者の自家用車にて支援を行う。支援活動後、利用者の方は1回(1時間以内)600円のチケットを払い、協力会員は500円の実費弁償金を貰い、事務局には100円の手数料が支払われる。燃料費高騰で、協力会員の負担増となっているので。交通費として1回200円支払う。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

2021年度会員数30名実施件数122件であったが、2023年度は会員数42名実施件数344件。市内対象地域は6地域から8地域へ、また活動範囲を市内限定から近隣市・町へと拡大したので、ニーズが増大し、社会情勢に対応していることがわかりました。活動が増大することで協力会員の負担増が考えられたが、本助成金で交通費の補助、任意保険の補助により軽減することができました。協力会員からは、ボランティアでありながら多大な協力を得ることができました。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

今後も交通の不便さ、一人住まいの増加、家族に協力を得られない等の社会情勢、地域情勢により、利用者がらのニーズが、増大すると考えられます。さらに買物弱者や老人の引きこもりの削減ができるように協力会員を増加することで利用件数を増加に対応することができると思います。そのためには、本助成金を受けることで協力会員の負担軽減、増員に対応していけると考えております。

7. 参考資料:プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。

